

インテル® Cache Acceleration Software



インテル® Cache Acceleration Software とハイパフォーマンスの SSD (Solid-State Drive) の組み合わせで、ハードウェアへの過剰な投資をせずに、インテリジェントなキャッシングでアプリケーションのパフォーマンスを向上できます。



アプリケーション、サーバー、仮想環境を高速化

最近のマルチコア、マルチ CPU サーバーでは、ストレージ I/O の遅延によってパフォーマンスを十分に発揮できず、システムの潜在的なフル・パフォーマンスを達成できなかったり、増え続ける作業負荷に対応しきれれていません。ストレージ、サーバー、メモリーを増やすといった伝統的なソリューションでは、莫大な費用がかかり、管理も複雑です。

インテル® Cache Acceleration Software (インテル® CAS) は、ハイパフォーマンスの SSD (Solid-State-Drive) との組み合わせで、莫大な費用をかけずに、インテリジェント・キャッシングを使用してアプリケーションのパフォーマンスを向上させることができます。インテル® CAS は、独自の Selective Optimized Caching 機能を持ち、管理者は、本当に必要なアプリケーションやデータへのストレージ・パフォーマンスを直接ターゲットにできます (企業に最大の価値をもたらすアプリケーション)

インテル® CAS はサーバーメモリーと一緒に使用することで、マルチレベルのキャッシュを作成して、システムメモリーの使用を最適化し、自動的にアクティブなデータの最適なキャッシュレベルを決定し、Flash/SSD でフルに実行するよりも高速なパフォーマンスを得ることができます。

インテル® CAS は OS に簡単にインストールできるので、バックエンド・ストレージだけでなく、ユーザーやアプリケーションにとって分かりやすいキャッシュ・ソリューションを提供します。

インテル® CAS の特長

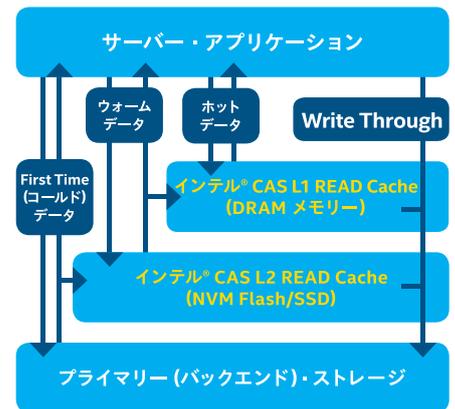
- 分かりやすくアプリケーションを高速化
- **Selective Optimized Caching** でアプリケーション独自にパフォーマンスを最適化
- 移行コストなしで SSD と同等のパフォーマンスを提供
- ストレージの待機時間を低減
- 仮想マシン集約率を向上



インテリジェント・キャッシング

最初のアクセスで、バックエンド・ストレージからデータを取得し、インテル® CAS のキャッシュにコピーします。次のアクセスは、システムメモリーにデータを移行させることができます。以降の読み込みをハイパフォーマンスな RAM や Flash のスピードで返します。すべてのデータを同時 (ライトスルー) または順次 (ライトバック) バックエンド・ストレージとキャッシュに書き込みます。

キャッシュがフルになると、新たに特定したアクティブなデータが、専用のエビクション・アルゴリズムを使用して、キャッシュから古い使わなくなったデータを追い出します。インテル® CAS は最大限のパフォーマンスを得るために Windows* または Linux* のカーネルで作動し、両方の専用サーバーをサポートし、VMware* vMotion と Hyper-V* Live Migration のサポートを含む VMware*、Hyper-V*、KVM*、Citrix* XenServer* 以下の仮想マシンで動作します。



主な機能	
アプリケーションの高速化	インテル® CAS はアプリケーションやストレージの設定をしなくても OS レベルで分かりやすくアプリケーションを高速化します。
クロスプラットフォーム	Windows*、Linux* サーバー、VMware* vMotion、Hyper-V* Live Migration を含む仮想マシンを高速化します。
Selective Optimized Caching	アプリケーション、ファイル名 (パターンマッチ)、ディレクトリー / パス、ファイルの種類 (拡張子)などをベースに一定のレベルでデータを高速化します。
ストレージの最適化	バックエンド・ストレージからパフォーマンスをオフロードし、パフォーマンスのために過剰に用意するのではなく、キャパシティに対してスピンドルを使用することができます。
I/O レイテンシー・ソリューション	サーバーのローカルの最小量のフラッシュメモリーにアクティブなデータをキャッシュし、プライマリー・ストレージの I/O レイテンシーを低減し、ストレージ全体のパフォーマンスを向上します。
ストレージ非依存	ディスクアレイ、SAN、NAS または直接接続されたストレージを含むバックエンド・ストレージと動作します。OS プラットフォームやリモートアクセス可能な OS でサポートする PCIe、NVMe、SAS、SATA SSD をサポートしています。
データの整合性	ライトスルー・モードでの読み込みでは、インテル® CAS のキャッシュとバックエンド・ストレージ間でバージョンの整合性を維持し、データの整合性を維持します。

技術仕様	
OS	64-bit Microsoft* Windows Server* 2003, 2008 R2, 2012 R2 64-bit RHEL* 5/6, SLES* 11 Linux.
仮想化プラットフォーム	VMware*、Hyper-V*、Citrix* XenServer*、KVM* (“ホットキャッシュ”を維持する一方で、ライブ・マイグレーションのフルサポートを含む)
ストレージ要件	NAS、SAN、NVMe、ローカルディスク、RAID、iSCSI、Fibre Channel を含むバックエンド・ストレージ・デバイス
フラッシュ/SSD 要件	OS プラットフォームまたはリモートアクセス可能な PCIe、NVMe、SAS、SATA SSD をサポート。インテル® SSD データ・センター・ファミリーも対象。
アプリケーション・サポート	Microsoft* SQL Server*、Oracle*、SAS*、Microsoft* Exchange 等の I/O インテンシブなアプリケーション。
マネージメント	GUI (Graphical User Interface) でキャッシュポリシー、高速化、キャッシュ操作全体を管理

お問い合わせ先: _____



インテリソフト 株式会社

〒108-0073 東京都港区三田3-9-9 森伝ビル 6F
Tel: 03-5440-7875 Fax: 03-5440-7876 E-mail: intel@xlsoft.com

Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

©2014 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。

XLsoft のロゴ、XLsoft は XLsoft Corporation の商標です。Copyright © 2014 XLsoft Corporation.